



持続可能な社会のために



Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標

2015年9月の国連サミットで採択された、2030年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)ことを誓っています。

スマートブルー×SDGs



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

事実として、世界の10億人弱はまだまだ現代的な電力を利用できておらず、30億人は薪や石炭を燃やした調理しかできず、2012年には430万人が屋内空気汚染により命を落としています。今日も数多くの人が、深刻な空気汚染の中で生活をしています。生死に直結するエネルギーだからこそ、スマートブルーは自社で消費する最終エネルギー量に占める再生可能エネルギーの比率を、2020年中に100%とすることを目指しています。

スマート：持続可能な
ブルー：海、空、大地＝地球



スマートブルー = 持続可能な地球

農業の持続可能性へのソリューション提案

後継者不足や耕作放棄地、高齢化など数多くの問題を抱える一方で、根本的な解決策はまだまだ見出せていない農業。農業分野においてはソーラーシェアリングを始めとするアグリビジネス事業でソリューションを提案し、就農者のリスク低減や安定収入を促すことで農業の持続可能性向上に貢献します。



顧客の持続可能性向上への貢献

持続可能な企業を増やし、持続可能な街をつくる。地方創生のためには、地方の中小企業が若者にとって魅力的な存在でなければなりません。企業の持続可能性が問われるいま、事務所や工場の屋根に設置する太陽光発電での自家消費や、蓄電池の設置で、BCP対策の整備に貢献します。



自分ごととして向き合い 挑戦する人財を育てる

スマートブルーは創業当初から、毎月の社内研修や社外コンサルタントによる各種研修、資格取得や社外研修への援助制度など人財育成に力を入れています。また社外に対しても、SDGsセミナーのファシリテーションやゲーム形式の経営研修、小学校での課外授業などを実施し、社内に限らず持続可能性と向き合い、行動する人財を育てています。



参画団体



スマートブルー(株)はグリーン購入ネットワークの会員です